

筑波大学新聞

第371号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- ロシア人留学生の現状
- Bombs! ユニドル予選首位
- 水泳 佐藤世界選手権メダル四つ
- 本紙 課外活動に関する調査実施
- 宿舎祭 コロナ下初の開催

11 10 8 5 2

特集

2年目の総合学域群 6・7
初年度を振り返る

ミニ特集

博物館・美術館などお得意に 3
キャンパスメンバーズ

ウクライナの学生受け入れ

第1期20人 支援チームも設置



ウクライナ人学生受け入れを発表する太田副学長(6月23日、大会会館で)＝細井真生撮影

筑波大は6月23日ウクライナからの避難学生を50人程度受け入れると発表し、国立大では最大規模になる見通しだ。第1期として20人の選考を終え、同月7日に入学許可証を送付した。太田副学長(学生担当)は「筑波大の多岐にわたる領域の学問を学んでもらい、終戦後の祖国復興のために活躍する人材になってほしい」と語った。

ロシアのウクライナ侵攻を受け、筑波大は4月13日から、学ぶ場や研究の場を失ったウクライナ人学生の募集を続けている。今年度末までに特別聴講生30人、研究生20人の計50人程度を受け入れる予定だ。第1期の20人は、5月6日までに申請のあった83人の中から、ロシアのウクライナ侵攻を対象にオンライン面接などを実施し、筑波大で勉強したい内容や語学力などを勘案して決めた。キウ国立大など筑波大の協定校を含むウクライナの11大学に在籍している。全員が学士課程の特別聴講生としての受け入れとなる。

受け入れ先の学群と人数は▽社会・国際学群7人▽人文・文化学群6人▽情報学群3人▽芸術専門学群2人▽生命環境学群1人▽理工学群1人。

学生交流課の担当者によれば、7月中旬に2人が来日する予定だ。残りのウクライナ人も、8月上旬までの来日に向けて日本への入国ビザ申請などの手続きを進めている。しかし、在ウクライナ日本大使館が閉鎖され、機能がポーランドに移されていることや、18〜60歳の男性の出国にはウクライナ政府の特別な許可が必要なおかげで、手続きに時間がかかっている学生が多いという。

チームを設置。秋学期からの授業に備え、夏季休業中に日本語講座や模擬講義などを開くこととしている。学生交流課はチャーター宿舎を無償貸与する。ウクライナ学生支援のための基金も新設し、学内外に寄付を呼び掛けている。

また、教職員や学生からなるウクライナ学生支援



5月28日、平砂宿舎エリアで花火大会が開かれた。比較文化学類2年 久保保織 撮影

「景気・雇用」最も重視
筑波大生163人に出口調査
第26回参院選

本紙は7月10日投票の第26回参議院選挙で、出口調査をつくば市内の2投票所で行った。筑波大生163人から有効回答を得た。つくば市を含む茨城県選挙区(定数2)については、当選した加藤良候補(自民党)と堂込麻紀子候補(無所属)への投票が上位を占めた。最も重視した政策は「景気・雇用」との回答が29人(17.8%)で最多だった。比例代表では、自民に「投票した」との回答が1位、国民民主党が2位だった。(本紙取材班)

茨城県選挙区の投票先は▽自民新人の加藤氏57人(35%)▽無所属新人の堂込氏36人(22.1%)▽日本維新の会新人の佐々木里加氏25人(15.3%)▽共産党新人の大内久美子氏16人(9.8%)▽参政党新人の菊池政也氏10人(6.1%)▽NHK党新人の村田大地氏5人(3.1%)▽NHK党新人の丹羽茂之氏1人(0.6%)▽無所属新人の仲村稔勝氏1人(0.6%)。無回答は7人(4.3%)。白票は5人で、無回答は7人。

選挙区の投票先を選んだ理由では、「政策を支持」が61人(37.4%)で最も多く、「候補者や政党の印象が良い」が29人(17.8%)と続いた。

比例代表の投票先は自民、国民民主に次いで立憲

つくば市桜「サイクルシックスつくば」開店
学内の放置自転車修理しサブスク化も

自転車店「サイクルシックスつくば」(つくば市桜)が6月21日にオープンした。筑波大の公認クロスバイクなどを販売するほか、筑波大と連携して、大学構内の放置自転車問題の解決にも取り組む。店に持ち込まれた自転車や筑波大構内の放置自転車を活用し、筑波大生などに毎月定額で貸し出すサブスクリプションサービスの提供を検討中だ。

(及川千翔)人文文学類3年、写真も。12面(関連写真)

筑波大公認クロスバイク 5万9400円(税込込み)。は、ライトブルーやグリーン 校章「五三の桐」やスローガン「IMAGINE IT」がデザインされている。

HE FUTURE」が入っている。

筑波大公式オンラインショップ「TSUKUBA SHOP」が今年3月に開設されたのに合わせて企画された。同店、オンラインショップいずれからの購入でも、売上の約1割が筑波大に寄付される。

筑波大が毎年夏に行う大規模な放置自転車一斉撤去に、学生生活課の担当者は「放置自転車があると、駐

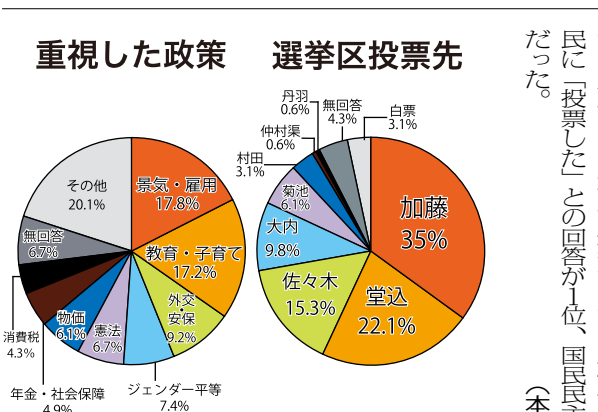


販売が始まった筑波大の公認クロスバイク(5月30日、つくば市桜で)

いものを選んで修理し、提供する。

自転車の種類に応じて月額5000〜10000円程度で貸し出す方針で、自転車が集まるのを待ち、来年度から事業を始める予定だ。

店長の矢部玲奈さんは「サブスクであれば、契約終了後は自転車がお店に戻される。結果として、自転車の循環が促進され、放置自転車が少ない」と話す。今後は、店舗を学生や地域の交流の場として考えて、市内をサイクリングするイベントも構想中だ。



筑波大生への出口調査結果

第26回参院選

が22人(13.5%)、維新が18人(11%)となった。比例代表の投票理由では、「政策を支持」が70人(42.9%)で最多となり、「支持政党だから」が31人(19%)、「候補者や政党の印象が良い」が24人(14.7%)の順になった。

投票の際に重視した政策としては、「景気・雇用」が28人(17.2%)、「外交・安全保障」が15人(9.2%)、「ジェンダー平等」が12人(7.4%)だった。

調査は、筑波大周辺の天王台・天久保地区が対象の市立吾妻中学校投票所と春日地区が対象の市立春日交



春C以降 対面授業が基本に オンデマンドも一部併用



間隔を空けずに座り、対面授業を受ける学生ら(7月14日、1C棟) = 及川千翔撮影

筑波大の加藤光保副学長(教育担当)は6月16日、授業実施方針について「対面授業または対面授業とオンデマンドの組み合わせ」を基本とする、学生向けに通知した。「対応可能な科目から順次実施する」としており、7月6日に始まった春Cモジュール以降、対面授業が拡大している。今年4月段階の指針では「対面授業を実施できる」とし、基本と位置づけはなかった。

(加藤光保副学長、勝山穂乃香II化学類1年、及川千翔)

対面授業の基本方針化について、通知では「職域職種などによる学生及び教職員へのワクチン接種の進展、授業による感染事例が報告されていないこと」などを踏まえたとしている。教育推進課によれば、今年度春Bモジュールまでの対面授業では、学生同士の間隔を空けて座り、講師は前方左右の間隔を1m以上空けるようにしていた。しかし、春Cからは撤廃した。1教室当たりの収容人数を増やし、使用可能な教室数を確保するための。

対面授業に参加する学生は、マスクの正しい着用、徹底、手指の消毒、直近14日間の健康観察記録の記入と携帯が求められる。また、厚生労働省が公開している新型コロナウイルス接種確認アプリ「COCOA」の使用が推奨されている。

対面授業の制限など、取り扱いは変更する場合もある。学生には、教育情報システム「TWINNS」や学習管理システム「manaba」で常に最新情報を確認してほしいと話した。

課外活動 7月から制限緩和

「キャンパスの日常取り戻す」

授業の実施方針が「対面授業または対面授業とオンデマンドの組み合わせ」となったことを受け、太田圭副学長(学生担当)は課外活動について、7月1日から「感染拡大防止に留意して、活動できる」とする通知(6月30日付)を出した。感染防止対策と活動制限緩和の両立を図りつつ、「活気あふれるキャンパスの日常を取り戻す」としており、活動制限が大幅に緩和されること、学修効果が高まる

課外活動は4月28日から、団体での課外活動を自粛するが、小規模な活動や大会などへの参加に向けて必要不可欠な活動を認めるとしていた。今回の通知で、活動自粛が外れた。ただし、宿泊を伴う活動や不特定の者が参加したり不特定の観客を動員したりするイベントの開催や参加に際しては、これまで通り「団体活動開始ガイドライン」などに基づき、大学に特別申請を行い、許可を受ける必要がある。

また、マスクは正しく着ける▽大会などへの移動で貸切バスを使用する場合は、飲食を控える▽おむつをい場合(黙食)、大声での会話は原則禁止する▽会食は短時間かつ少人数(4人以下)に抑える―などの対策を求めている。(寺尾優汰、10面に関連記事)

筑波大・JFAが共同研究 デジタル駆使しサッカー観戦

筑波大デジタルネイチャー開発センターと日本サッカー協会(JFA)が「物理再構築技術とサッカーの融合」をテーマに共同研究を今年行うことになった。今年7月から2年間の予定で、デジタル技術を駆使したサッカーの新しい観戦方法や指導方法の開発などに取り組む。

6月23日に東京都内で開かれた記者会見には、同センター長の落合陽一准教授(図情学系)とJFAの田嶋幸三会長が出席した。JFA広報部によれば、JFA職員が筑波大出身の同僚を通じて落合准教授と交流を深めていることを田嶋会長が知り、話し合いを進める中で、共同研究の合意に至ったという。

研究の柱は①世界一のサッカースタジアム観戦環境の構築―の三つだ。

①については、ピッチで実際にプレーしている選手や審判をデジタル化し、選手視点や審判視点など、観戦者が自由に視点を選べる観戦環境を開発する。また、視覚や聴覚に障害のある人でも楽しめる観戦方法を開発する。

②については、スマートフォンやタブレット、ドローンなどを、サッカーの普及や選手の育成に生かす技術を開発する。③については、メディアアートの展覧会などを開催している落合准教授の知見を生かし、新しい展示方法の開発や検証に取り組む。

JFAの担当者は「JFAが好事例を示すことで、日本のスポーツ全体のデジタル化を推進したい。共同研究で得られた技術や知見が、豊かなスポーツ文化の醸成、誰一人取り残さない社会の実現に寄与することを期待している」と話した。(寺尾優汰、勝山穂乃香)

「早く戦争終わってほしい」

ロシア人留学生 ウクライナ侵攻受け

筑波大には今年5月現在で、研究生や特別聴講生を含め計27人のロシア人留学生が在籍している。これは、国立大では最も多いという。ロシアのウクライナ侵攻をどう思うか、日々の生活を送っているのか。研究生1人と特別聴講生2人に話を聞いた。3人に共通していたのは、早く戦争が終わってほしいという思いだった。

(寺尾優汰II比較文化学類3年、車谷郁実)

「なぜ侵攻したのか理解できなかった」と話すのは、昨年11月末に来日した研究生のAさん(28)だ。真っ先に、ロシアにいる夫のことが気になったという。戦争が長期化するれば徴兵される可能性もある―という不安が、今も拭えない。

当初は、夫も後から来日する予定だったが、めどは立っていない。ロシアと国境を結ぶ飛行機便が対露経済制裁で激減したことに原油高が重なり、航空券代が高騰したからだ。

現在は大学院進学を目指し、日本の文化や政治について勉強している。日本で働くロシア人の友人から、「勤務先の上司にロシア出身であることを隠してほしいと言われた」と聞いた。族の意見対立に悩んだ。叔父に日本留学を伝えるを受けたことはいないが、良いイメージを持たれてないかもしれないと、不安に感



Bさん(7月21日、第2エリア前) = 寺尾優汰撮影

は、アニメなどが好きで、日本文化を学びたいと思っただけだ。「裏切り者扱いされて悲しかった。親戚間でも自由な意見を言い合えず、怖かった」と振り返る。Bさんは、両親から仕送りを受け取れないことにも困っていた。経済制裁を受けているロシアが、通貨ルーブルの下落を抑えようとして、海外への送金を禁止したためだ。

送金禁止前に、日ごろ使っている中国の決済サービス「銀聯」の口座にドルを入金していたため、当面の生活費は賄える見通しだ。しかし、侵攻が長期化すれば、どうなるかわからない。

森谷さん(×創) 初の個展

「VRの面白さ知って」

「8LEGS」のユニット名で、中学2年生の弟と一緒にVR(仮想現実)作品を制作している森谷安寿さん(×創1年)が8月17〜27日、日比谷OKUROJI(東京都千代田区)で初の個展を開催する。来場者は、ドラゴンに乗って八つ橋の世界を旅することができる。作品のリアリティを増やすための備品購入や個展の補助スタッフの人員費

のアプロバガンを聞いて悲しくなった。父親はアプロバガンを信じている」という。「ウクライナには、今も親族がいる。早く戦争が終わってほしい」と物憂げな表情を見せた。



「DRIFT ABYSS」のコンセプト図 = 森谷さん提供

ドラゴンに乗って空を飛ぶのは森谷さんの幼い頃の夢だった。「現実になり世界を旅するのがVRの魅力。個展がさまざまな年代の人にVRの面白さを知ってもらえる機会になればいい」と森谷さんは話した。(車谷郁実)

キャンパスメンバーズ制度 博物館・美術館をお得に満喫

筑波大で利用できるキャンパスメンバーズ制度

制度の名称	運営母体	利用できる施設一覧	特典一覧		
			学生	教職員	★特別展
国立美術館 キャンパスメンバーズ	独立行政法人 国立美術館	東京国立近代美術館(本館)	250円が無料に	500円が無料に	割引料金 (団体料金など) が適用される
		国立西洋美術館	—	—	
		国立新美術館	—	—	
		国立映画アーカイブ	130円が無料に	250円が無料に	
		京都国立近代美術館	130円が無料に	430円が無料に	
東京国立博物館 キャンパスメンバーズ	独立行政法人 国立文化財機構 東京国立博物館	東京国立博物館 (本館・東洋館 平成館1階・法隆寺宝物館)	500円が無料に	1000円が無料に	2020年6月 から割引は 停止中
		国立科学博物館上野本館	630円が無料に	授業の一環で 学生引率の場合 630円が無料に	
		附属自然教育園 筑波実験植物園	320円が無料に	授業の一環で 学生引率の場合 320円が無料に	
国立科学博物館 大学パートナーシップ	独立行政法人 国立科学博物館	国立科学博物館上野本館	630円が無料に	学生と 引率の教職員は 料金から 630円割引	学生向けに 各種講座・実習の 優先的受け入れと 受講料割引
		附属自然教育園 筑波実験植物園	320円が無料に	授業の一環で 学生引率の場合 320円が無料に	

★国立美術館では特別展を「企画展」と呼称 (各制度のウェブサイトと取材を基に作成)

キャンパスメンバーズ制度をご存じだろうか。大学生や教職員が、美術館や博物館をお得に利用できる制度だ。筑波大は3種類の制度に加盟しており、国立西洋美術館(東京都台東区)や東京国立博物館(同)など10施設で特典を受けられる。夏休みに訪れたい施設の見どころや制度利用のポイントを、学芸員や有識者に聞いた。(坂田利通、細井真生、天野真生、大久保伊織、天野隼太、比較文化学類、松村英美、日本語・日本文学類、東谷都美、社会学類)

キャンパスメンバーズ制度を高める狙いがある。国立美術館や博物館など、一定額の料金を払う。所属学生や教職員が入館時に学生証や職員証を提示すれば、ほとんどの施設で常設展が無料に。一部の特別展や学生向け講座も割引になる。学校の学生向けに、博物館や講義や演習実習も開いている。敷地内の茶室や講義もつなげたりする機会を増やすとともに、施設が存在価値を高める。国立科学博物館大学パートナーシップでは、筑波大を含む一部の大学では単位として認定される。

入館料、受講など特典も認定される。

国立西洋美術館

国立西洋美術館は、西洋美術全般を扱う日本唯一の国立美術館だ。中世から20世紀半ばまでの絵画や彫刻、版画など約6000点を所蔵している。常設展を鑑賞すれば、西洋美術の流れをたどることができる。建物の地階にある企画展示館の空調設備の改修と防水工事のために1年半休館し、今年4月にリニューアル



右からクロード・モネ「睡蓮の反映」、ジョージ・モネ「睡蓮の柳」、ジョージ・モネ「睡蓮の柳」(国立西洋美術館提供)

西洋美術の流れ分かる

ルオープンした。学生証を提示すると常設展は無料、企画展は割引料金で鑑賞できる。記者は、リニューアル記念にアルオープン記念に開かれている企画展「自然と人のダイアローグ フリードリヒ・モネ、ゴッホからリヒターまで」を訪れた。地下の展示館の最後の部屋には、約200点の大きな絵画が目立つ。一面「睡蓮」が壁一面を独占していた。印象派を代表するフランスの画家クロード・モネが1916年に描いた作品だ。同美術館が所蔵し、普段は常設展で展示さ

筑波実験植物園

1983年に開設された筑波実験植物園は約7000種の植物を栽培し、うち約3000種を公開している。「植物の多様な生活に関わる深い植物や絶滅危惧種などを展示している。「世界の生態区」は、世界

筑波大生は入園料320円が無料になる。2021年度は、パートナーシップ入会校全体で2812人が来園し、そのうち筑波大生が2394人だった。植物園の敷地面積はおよそ14ヘクタール。一般公開されている植物展示エリア「植栽区」と「研究管理区」に分かれる。植栽区には約490万点の標本が収蔵され、そのうち自然史標本棟の1階は見学可能な(7月14日現在)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉館。植栽区は「生命を支える多様性」と「世界の生態区」に分けられる。「生命を支える多様性」は、衣類に使われるウタや薬に用いられるナンテンなど、人間の生活に関わる深い植物や絶滅危惧種などを展示している。

東京国立博物館

東京国立博物館は1872年に設立された日本で最も長い歴史を持つ博物館だ。文化財の収集、調査、修復とその成果の展示を通じて、文化の保護と継承を図ることを使命としている。収蔵品は日本や東洋を中心に約12万件。中には今年3月末時点で国宝89件、重要文化財648件が含まれる。



上野の細密画を解説する勝木上野(7月6日、東京国立博物館東洋館で) = 車谷都実撮影

「教科書掲載の文化財並ぶ」からなる。東京ドーム2.5個分の敷地面積(12.6ヘクタール)で、1日では回りきれないほどだ。

7月のテーマは「ジャスティアン 絵画」だ。18世紀にインド西北部で制作された作品を展示する。体は正面を向いているのに顔は横を向いている表現が特徴的で、それを輪郭線だけで描き起している。

芸術に触れるきっかけに



水野裕史助教

芸術作品の展覧会などは、研究や学習のために図録を購入することも多い。交通費もかかると、大きな出費になる。展示が無料や割引価格で観覧できるのは学生にとって重要なことだ。

上野には対象施設が集中している。授業のない日や長期休暇時は、制度を利用して絵画や文化財に積極的に触れてほしい。

識者に聞く

キャンパスメンバーズ制度の意義を、筑波大で学芸員資格に関する授業を担当する水野裕史助教(生環系)に聞いた。

(聞き手: 坂田利通)

現物体験し 研究に生かす



上松佐知子准教授

地学や考古学の分野では、標本などの「モノ」が研究材料だ。実際に展示物を見ることで研究のイメージがつかみやすくなる。

【文2年・女性】

1年の夏休みに、友人と実験植物園を訪れた。熱帯資源植物温室で見たバナナやカボチャが印象に残っている。果実は見たことがあるが、木に生えている様子を見たのは初めてだった。広大な敷地を無料で見学でき

訂正

370号3面「ミニ特集」の表で「女性の結婚年齢が16歳から18歳に引き上げられ」とあるのは「引き上げられ」の誤りでした。

記者の声



及川千翔

【6、7面に「総合学域群」特集】昨春、総合学域群1期生の新生歓迎委員を務めた。「広い視野から関心ある学問分野を考える理念」に惚れた。

総合学域群 主体的学びで総合智獲得 移行データ公開し検証を

新設委で知り合った情報学群の学生から、知識情報・図書館を得て、進路に悩むことができ学類開設の「知識情報論」が面白いと教えられ、2年次の秋学期に履修した。そこで紹介された「記号」の定義は言語学者、シニールのもので、言語学主

「さまざまな学群の授業を受け、広い視野から自分のしたいことを見つめ直せた」などの声が寄せられた。一方、「移行に必要な単位が多く、取りたい授業を取れなかった」との声もあった。総合学域群からの移行に際し

専攻の私にとっても、なじみ深いものだった。さまざまな学問が繋がっていると実感した。2年次以降の所属が決まってい

学類・専門学群に移行できる。1期生は420人。アカデミックサポートセンターによれば、学類・専門学群に移行した学生は401人で、約9割が第1〜第3志望に移行した。

では、志望先となる学類・専門学群が求める科目を履修し、好成績を収めた方が有利になる。山中弘総合学域群長は「移行はあくまで結果で、総合学域群の本質ではない」と話す。総合学域群での学びが成績にとらわれない「第2の受験」となるとは、設置の狙いに反するだろう。

筑波大が、深い専門性と幅広い知識の両方をともに学ぶ、新たなベラールーツ教育である「総合智教育」を掲げているのもそのためだろう。総合学域群は、その理念を特に具体化したものであるに違いない。

移行しなかった1期生に「興味より移行を優先し、1年次は履修を見送った授業を取れている」と聞いた。総合学域群では、1年間で専門分野を決め、移行先を選ぶが、専門分野をすぐに決めず、4年間かけて総合智を涵養する学群・学類の設置を考慮しても良いと思う。(筑波大学新聞副編集長・人文学類3年)

筑波時評

6月6日にスポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」から提言が示された。提言では、2023〜25年度を改革集中期間として、学校で行われてきた運動部活動を地域に移行することが提案されている。改革の終着点として、学校から部活動が消え、教職員以外が子どもたちを指導する姿を想像する人は多い。

学校部活動 繰り返す地域移行議論 求められる「大きな器」作り

部活動の地域移行議論は、50年ほど前から繰り返され、地域期間を柔軟に設定できるように移行の「受け皿」が不足している。各自治体では地域スポーツクラブや民間

企業との連携による「受け皿」が模索されている。部活動は校友会を源流として、1世紀を優に超える歴史を刻んできた。課外活動でありながら、学校の原風景として描かれ、「フカツ何やってた？」が名刺代わりになったり、青少年の進路選択に重大な影響を及ぼしたりする。一方、教員の欲望や感情をさらけ出させたり、思春期の子どもたちを精神的に追い詰める脅威たり、子どもと大人に過重な負担を強いる同調圧力を生み出したりもする。部活動が「学校」や「教育」が持ち合わせていないような、功罪両面を含む強大な影響力を兼ね備えているのは明らかだ。その影響力は、学校教育の中

核でもなく、完全な学校外活動でもない「間隙」に部活動が存在していることに起因する。そこには正課の活動に追われる「学校内」や日々の生活に追われる「学校外」では味わえない、鮮烈で生き生きとした体験がある。そのような活動を平等に享受できる場や機会

を起原として、人間の生活や文化は発展してきた。必要に駆られる勉強・労働から離れた活動によって、人生に彩りが与えられるがゆえに、人々は「余暇」を大切にしてきた。その意味で部活動は、人間の文化や人生にとって意味ある体験を保障してきた。

さて多くの人が部活動を経験するが、運動部に限れば中学校(6〜7割)、高校(4割)と加入率は低下し、成人の地域スポーツクラブ加入率は2割に満たない。現状では部活動が、生涯を通じて「遊び」や「余暇」につながっているとは言いがたい。いま求められるのは、部活動の地域移行をきっかけに子どもを含む市民全体の「遊び」や「余暇」を支えることかもしれない。そのためには、芸術・文化・スポーツ活動を地域社会全体で共同運営する組織や仕組みが必要である。部活動の「受け皿」を超えた「大きな器」が望まれる。

反射鏡

帰省の手段、何が決め手

筑波大には全国から、そして世界中から学生が集まっている。故郷や母国に戻り、友人や家族と過ごす機会は、学生にとって待ち遠しいものだ。一方で、戻るためには旅費が必要だ。筑波大生はどんな帰省手段を使っているのか。中央図書館前などで聞いた。(高元愛香II心理学類2年、加藤緑II生物学類1年、勝山穂乃香II化学類1年)

【情理P前期1年・男性II】安くはないので、帰省するのは年に1、2回で、この夏休みは帰らない予定だ。【応理2年・女性II】東京都行機なら短時間で帰れるが、値段が高い。バスだと片道1500円で帰れるが、T×の定期券が半年で15万円と高額なこと、通

道るのは、面倒に感じるところもあるが、両親を安心させるためにも帰らないといけないと思う。【教育P前期1年・女性II】ミヤマー出身【実家】実家は飛行機で片道8時間。1000円かかる。今年5月に日本に来たが、母国の情勢が不安定なこともあり、卒業するまで帰らない予定だ。日本は母国より安全で、安心して暮らせる。姉が東京で仕事をしており、自分も日本で就職したい。【医学1年・男性II】東京都出身【実家】実家は大田区にあり、帰省にはくはエクスプレス(T×)を使っている。自宅から通えないこともないが、T×の定期券が半年で15万円と高額なこと、通

【情理P前期1年・男性II】安くはないので、帰省するのは年に1、2回で、この夏休みは帰らない予定だ。【応理2年・女性II】東京都行機なら短時間で帰れるが、値段が高い。バスだと片道1500円で帰れるが、T×の定期券が半年で15万円と高額なこと、通

【医学1年・男性II】東京都出身【実家】実家は大田区にあり、帰省にはくはエクスプレス(T×)を使っている。自宅から通えないこともないが、T×の定期券が半年で15万円と高額なこと、通

【芸術P後期1年・女性II】中国出身【実家】今年筑波大に入学した。日本への飛行機チケットだけで20万円かかった。更にコロナ対策で、入国後に待機した際の費用も非常に高額に感じた。帰省するつもりは、2年後だろうか。

大学院進学どう思う

早くも2024年卒業予定の学生を対象とした、企業のインターンシップが始まっている。大学院に進むのか、就職活動をするのかは学生にとって大きな岐路の一つだ。他の先進国に比べて大学院進学率が低いと言われる日本。筑波大生は院進をどのように捉えているのだろうか。第3エリア前などで聞いた。(寺尾優汰II比較文化学類3年、加藤緑II生物学類1年、勝山穂乃香II化学類1年、太田碧II芸術専門学群2年)

【人文1年・女性】いが、大学院に行った方が就職に有利だと聞いたこと。【地理P前期2年・男性】学群4年間だと学び足りるから。もう一つ、すなわ、もう少し研究に足を突っ込みたいと院進を決めた。学類は人文だったが、ラトリウム期間を延ばしたという思いもある。【応理2年・女性】今までは半導体が気になっていて、大学院に進学して関連する研究をしたい。具体的内容はまだ考えていない。

【理工3年・男性】今夏のインターンシップに参加して、就職と院進どちらにするか考えたい。院に行ったら先輩を見ていると、常に忙しそうにしている。自分がついていけるか不安も感じている。興味が多く、試験も不安だ。【生物P前期2年・女性】学類3年までは就活をしようと思っていたが、4年で研究室に配属され、研究が楽しくなって院進した。実家から通える都内の大学院への進学も検討したが、興味ある研究室に空席がなかった。【応理P前期2年・男性】コロナ禍の影響で就活が上手く行かない中、推薦をもらうことができたので院進を決めた。学類の時と同じテーマで研究を続けてい

朝倉 雅史 助教(教育学)



人間系・助教。筑波大大学院人間総合科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(体育科学)。早稲田大助教などを経て2022年度より現職。

人間系・助教。筑波大大学院人間総合科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(体育科学)。早稲田大助教などを経て2022年度より現職。

【理工3年・男性】今夏のインターンシップに参加して、就職と院進どちらにするか考えたい。院に行ったら先輩を見ていると、常に忙しそうにしている。自分がついていけるか不安も感じている。興味が多く、試験も不安だ。【生物P前期2年・女性】学類3年までは就活をしようと思っていたが、4年で研究室に配属され、研究が楽しくなって院進した。実家から通える都内の大学院への進学も検討したが、興味ある研究室に空席がなかった。【応理P前期2年・男性】コロナ禍の影響で就活が上手く行かない中、推薦をもらうことができたので院進を決めた。学類の時と同じテーマで研究を続けてい

サロンシリーズ始動

第1回はサククスで魅了

国内外で活躍するサクソフォン奏者の増美里さんとピアノの小山和さんによる演奏会「増美里 サクソフォンが彩るクラシックの世界」が5月29日、アルホール(つくば市吾妻)で開かれた。筑波大生有志でつくる「つくばリサイタルシリーズ(TRS)」実行委員会の新企画「サロンシリーズ」の第一弾。会場は満席になり、約80人の観客が19世紀以前の作品を中心とした計6曲の演奏を楽しんだ。

同団体は、つくばで一流のクラシック音楽を気軽に楽しんでもらおうと、2013年1月から今年1月までに計11回、連続演奏会を開催してきた。新シリーズでは、大きな会場では演奏できなかった「黄金色のサテロス」は、同団体の顧問を務める江藤光紀准教授(人社系)が今回の演奏会のために書き下ろし、増美里さんに献呈した新曲。緊張感のある「プレリュード」ゆったりとした旋律の「西雲」、力強い「幻影のギャロップ」の三つの楽章で構成されている。「西雲」では、和音が連続するピアノの伴奏とアルトサクソスの旋律が夕暮れの色を表現した。



サクソフォンを奏でる増さん(右) = TRS 実行委員会提供

この日演奏されたのは、ヴィヴァルディやバッハの作品など。増美里さんはアルトサクソフとソプラノサクソスを吹き分けた。会場にはフランスでの留学生活や、今年3月にニューヨークのカーネギーホールで開いた演奏会などの話題を紹介。まさに、サロンをイメージした企画となった。

3曲目の「黄金色のサテロス」は、同団体の顧問を務める江藤光紀准教授(人社系)が今回の演奏会のために書き下ろし、増美里さんに献呈した新曲。緊張感のある「プレリュード」ゆったりとした旋律の「西雲」、力強い「幻影のギャロップ」の三つの楽章で構成されている。「西雲」では、和音が連続するピアノの伴奏とアルトサクソスの旋律が夕暮れの色を表現した。

筑波大芸術系の教員らでつくる「つくばアートメダルプロジェクト」(TAMP)が附属学校と連携して取り組んだ教育活動を紹介します。企画展示「アートメダルを通して小中高大の教育連携」Ⅱ写真Ⅱが5月27日(7月12日、文部科学省の情報ひろば(東京都千代田区)で開かれた。アートメダルは、大会などの記念品で見られるメダルの概念を広げ、芸術表現として捉えられたもので、「手のひらの芸術」と呼ばれる。会場には筑波大の附属小学校や視覚特別支援学校の児童・生徒らが制作した作品などが並び、校外学習に訪れた小学生などが見学した。

アートメダルで教育連携

文科省で取り組み展示

筑波大で書きたる学生有志による「令和4年度秋展」が6月6〜17日に筑波大総合交流会館で開かれた。芸術専門学群と芸術学学位プログラム博士前期課程に在籍する39人が、漢詩や新古今和歌集、金子みすゞの詩などを題材にした作品や篆刻など計41点を出展した。一昨年と昨年はコロナ禍のためオンライン開催となった。今年はオンライン展示を継続しつつ、観覧を学内関係者に限定し、3年ぶりに学内展示も行った。大川真輝さん(芸専4年)は、杜甫の漢詩「春夜喜雨」を縦80センチ、横60センチの画仙紙に行草書で書きたため、「春夜喜雨は春の夜に、どんよりとした空から静かに降る雨の情景を歌った五言律詩だ。太くしっかりした線とかすれた線に、筆遣いの遅速が表れている。大川さんは、今年は学内展示が再開されたので、会場の広さに負けないようにこれまでより大きな作品に仕上げた。オンラインよりも、実物の方が繊細な表現が伝わりやすいので、作品の中にいろいろな味わいのある線を組み入れることを意識した」と語った。(小栗あおいⅡ社会学類3年、12面に関連写真)



TAMPを統括する宮坂慎司助教(芸術系)は「視覚障害のある子供たちの鑑賞は、普段は暗眼者がつくったものにくっつくものに触れる体験と異なる。展示では反対に、彼らがつくったものを私たちが触り、その表現に触れる機会となる」と展示の面白さを語った。

また、自由な発想の作品制作や人々との交流の機会を提供する「アートメダル」が並んだ。TAMPは筑波大芸術系や附属学校図画工作科・美術科の教員らが参加して2019年に発足した。静岡県小山町にある国の登録集大成と言えものだ。

UNIDOL 予選首位 Bombs! 決勝戦へ

大学対抗女子大生アイドルコピードダンス大会「UNIDOL(ユニドル)2022 Summer」の関東予選が6月14、15日に新宿ReNY(東京都新宿区)で開かれた。筑波大のアイドルコピードダンスグループ「Bombs!」は予選1日目で1位となり、8月21日開催の決勝戦進出を決めた。



笑顔で踊る Bombs! リーダーの松田さん(6月14日、新宿 ReNY で) = 中谷美稀撮影

関東予選には2日間計23チームが参加した。Bombs!のメンバー13人は、自分たちで手作りした、白を基調としたミニスカート姿でステージに登場。3曲目の「世界の中心で虹を叫んだサマー」では、X21の「マジカル☆キス」、chulaの「完全無敵あいうえお」、虹のコンキスタドルの「世界の中心で虹を叫んだサマー」の計3曲を披露した。

予選の順位は、3人の審査員の評価点と、観客による投票の合計点によって決まる。Bombs!は審査員点では2位だったが、会場とオンラインそれぞれの観客投票では1位で、総合でも1日目の1位となった。

予選の順位は、3人の審査員の評価点と、観客による投票の合計点によって決まる。Bombs!は審査員点では2位だったが、会場とオンラインそれぞれの観客投票では1位で、総合でも1日目の1位となった。

会場には展示されたアートメダルは計12個。附属学校の児童・生徒らがカラフルに色づけた作品や、鏡を用いて両面が見えるようにした作品など、個性豊かな作品が並んだ。視覚特別支援学校では、児童・生徒が手の感触を生かして成形したワックスからアロマメダルを塑造した。

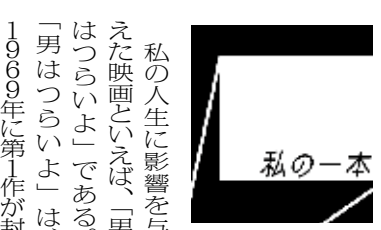
会場には展示されたアートメダルは計12個。附属学校の児童・生徒らがカラフルに色づけた作品や、鏡を用いて両面が見えるようにした作品など、個性豊かな作品が並んだ。視覚特別支援学校では、児童・生徒が手の感触を生かして成形したワックスからアロマメダルを塑造した。

会場には展示されたアートメダルは計12個。附属学校の児童・生徒らがカラフルに色づけた作品や、鏡を用いて両面が見えるようにした作品など、個性豊かな作品が並んだ。視覚特別支援学校では、児童・生徒が手の感触を生かして成形したワックスからアロマメダルを塑造した。



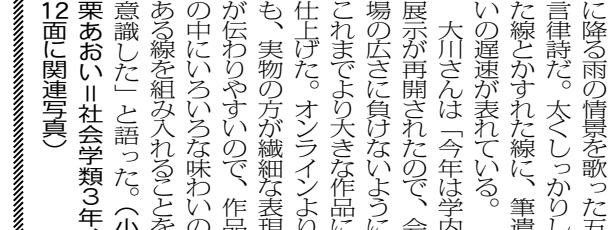
井田 仁康 教授 (社会科教育学・地理教育) 人間系・教授。筑波大大学院博士課程地球科学研究科単位取得退学。博士(理学)。上越教育大講師、筑波大講師などを経て、2006年より現職。

「男はつらいよ」の基本的パターンは決まっています。全国を旅して商売する、いわゆる露天商の寅次郎(独身)が、たまたまに美家のある東京の葛飾柴又に戻り、毎度、女性に恋をして、恋は破れてまた旅に出るというものである。寅次郎は女性に打ち明けて、キュービット役をして相手の幸せを祈りながら、彼女の前から去っていく。こちらが好きになっても、相手は恋愛感情を抱いていないとは限らない。いい関係を保つには恋を打ち明けてはいけません。しかし、恋を打ち明けて



私の人生に影響を与えた映画といえば、「男はつらいよ」である。「男はつらいよ」は、1969年に第1作が封切られ、その後シリーズ化され、主役の車寅次郎役の渥美清が亡くなるまでの第48作(95年)まで続いた。その後97年に特別編、そして2019年には第50作として回想シーンを織り交ぜながらの映画が封切られた。原作や監督は作によって多少異なるが、シリーズを通して山田洋次氏が原作、脚本、監督に関わっている松竹映画である。

「男はつらいよ」の基本的パターンは決まっています。全国を旅して商売する、いわゆる露天商の寅次郎(独身)が、たまたまに美家のある東京の葛飾柴又に戻り、毎度、女性に恋をして、恋は破れてまた旅に出るというものである。寅次郎は女性に打ち明けて、キュービット役をして相手の幸せを祈りながら、彼女の前から去っていく。こちらが好きになっても、相手は恋愛感情を抱いていないとは限らない。いい関係を保つには恋を打ち明けてはいけません。しかし、恋を打ち明けて



俳句 筑波大 田草取 雨蛙空を広げるために鳴く 6月11日(国営葛城山) つくば市下岩崎

「男はつらいよ」 山田洋次監督など 多々の場合、相手の女性寅次郎を優しい友達とみたり、自分の好きな人の悩みを寅次郎に打ち明け、寅次郎はそれを黙って聞いて慰めるのである。その後黙って旅に出る。相手の女性はずいぶん、寅次郎に共感していたのである。私は、結果的には寅次郎が嫌う「インテリ」の代表ともいえる大学教授になったが、出張や調査でカバンを持って家を出る時には、いつも寅次郎気分です。旅に出て仕事して「さ」という思いである。

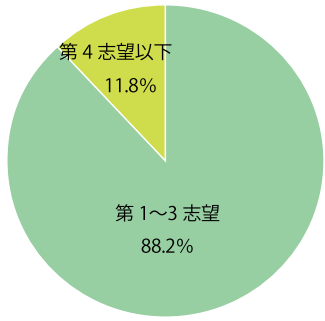
今年で2年目 総合学域群の初年度を振り返る

	実際の移行人数(人)	募集人員に基づく 受入予定人数(人)
人文学類	27	30
比較文化学類	22	20
日本語・日本文学類	7	20
社会学類	21	20
国際総合学類	21	20
教育学類	3	3
心理学類	5	5
障害科学類	3	3
生物学類	16	20
生物資源学類	21	20
地球学類	12	13
数学類	10	10
物理学類	15	15
化学類	13	13
応用理工学類	29	30
工学システム学類	35	33
社会工学類	31	30
情報科学類	21	20
情報メディア創成学類	19	18
知識情報・図書館学類	47	45
医学類	6	5
看護学類	2	5
医療科学類	10	10
芸術専門学群	5	5
合計	401	413

1期生の移行結果

概要		人数(人)
移行した	一次判定	399
	二次判定	2
移行しなかった		19
合計		420

一次判定における移行先の志望度



(取材を基に作成)

「この地で、1年後のわたしを探そう。総合学域群のホームページにあるスローガンだ。この春、1期生を各学類・専門学群へ送り出すとともに、新たに2期生418人を迎えた。専門を決めずに入学し、1年間かけて学類・専門学群を選ぶ新たな試みは、今年から今後どう展開するのか。総合学域群長や学生、学生を受け入れる教育組織の長に話を聞き、総合学域群の1年を振り返った。(及川翔二・人文学類、寺尾優汰・比較文化学類、東谷郁美・社会学類、加藤緑・生物学類、大岡知暉・第3類、4面に記者の声)

約9割が第3志望以上へ移行

2021年度に入学し、果が学生に通知され、移行した総合学域群の1期生は、先が決まらなかった学生は420人。アカデミックサポートセンターによると、一次判定で移行先が決まった学生は399人。このうち401人が24学類・専門学群に移行した。もう88.2%の学生が第1志望から第3志望までの学類・専門学群に移行した。二次判定では、学生2人の3月14日に一次判定の結果、移行先が決まった。

移行の流れ

総合学域群で入学した学生は1年間、総合学域群に所属し、興味のある学問分野を学びながら2年次の移行先を絞る。体育専門学群を除く24の学類・専門学群から選ぶことができる。総合学域群には文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲの4つの選抜区分がある。理系Ⅰでは物理が必須など、理系の3区分では個別学力検査の必須科目や科目の配点が異なる。選抜区分が文系の学生は第1類、理系Ⅰは第2類、理系Ⅱ・Ⅲは第3類に所属する。移行先は、学生の成績などに基づいて学類・専門学群が決めた受入順位と、学生自身による移行先の志望順位の組み合わせで決まる。人間学群・情報学群に所属する6学類を除く17学類と芸術専門学群は、移行のために修得が必要な科目を応募要件として定める。これに加えて、TOEICの点数を受入順位の決定に用いる学類・専門学群もある。医学類は適性試験、看護学類は面接を課す。意欲や倫理観などを問うためだ。

1期生に聞く

1期生の及川奈々さんは、第1志望の芸術専門学群(共専)に移行した。「ピアノを幼稚園から高校まで続けており、ピアノの演奏や音楽学を深めたいと考えていた。だが、他の国立大音楽系コースの推薦入試に失敗し、自分より演奏が上手な人がたくさんいた。別の道に進んだ方が良いと思ったという。やりたいことが決まらないうえ、1年間勉強した上で進路を決める総合学域群に魅力を感じ入学した。

新しいことに挑戦

音楽や芸術全般に興味があり、比較文化学類への移行も考えたが、手を動かしてものを作る実践的な学びがしたいと芸術を選んだ。やらないことが決まらないうえ、1年間勉強した上で進路を決める総合学域群に魅力を感じ入学した。

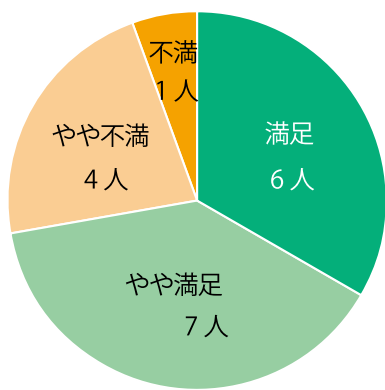
「多様な分野学べ楽しかった」

「絵の練習をしたことがなく、やっていたけれど不安だった」が、新しいことに挑戦しようと思った。「受験時のように、自分と他人を比べて選択肢を諦めることを繰り返したくない」という思いもあった。移行後は、芸術で標準履修年次が1年次の科目を履修している。今年度で基礎を固め、高年次の科目は来年度以降に履修する計画だ。

「移行できずも焦りなし」

Kさん(2類2年)は、社会学類(共専)、工学システム学類、応用理工学類の順に移行を志望したが、社会学類が重点科目に定められた。同カデミックサポートセンターから「移行先の選択肢を増やすように履修した方がいい」との助言を受け、生物学類の応募要件を満たすように履修を組んでいる。

移行先で春学期を過ごした感想



(本紙アンケートを基に作成)

学生アンケート

本紙は7月7~13日、総合学域群の1期生、2期生それぞれに対し、オンラインアンケートを実施した。1期生対象では、18人の回答を得た。移行先での感想を聞いたところ、13人が「満足」「やや満足」と答え、その理由として「好きな分野を学べている」などが挙げられた。一方、5人が「やや不満」「不満」と答えた。役に立った経験として「志望先の移行要件を満たしているか、時間割を確認してもらった」という声があった。

「ないなら作ればいい」

総合学域群では、春Aから秋Aの各モジュールの成績確定後に、移行の模範判定が行われる。その時点で移行志望先の合否と、合格者・不合格者それぞれで順位が中央値より上か下か△を作成した。総合学域群の学生の成績点や大学の模範判定を終え、自分の具体的な順位などが分からず不安を覚えていた。クラス代表だった三河さんは総合学域群の学生に移行制度などへの評価を問うアンケートを実施。109人から回答を得た。模範判定で「ないなら作ればいい」と三河さんは振り返る。

独自模範判定システム開発

第2類所属だった三河優さん(エシス2年)は昨年8月、移行先選択の参考となる「独自模範判定システム」を作成した。総合学域群の学生の成績点や大学の模範判定を終え、自分の具体的な順位などが分からず不安を覚えていた。クラス代表だった三河さんは総合学域群の学生に移行制度などへの評価を問うアンケートを実施。109人から回答を得た。模範判定で「ないなら作ればいい」と三河さんは振り返る。

独自模範判定システム

順位	成績点	模範判定	合否判定	備考
1	923.6	F+	P	94.0416002
2	911.5	F+	P	91.8529236
3	905	F+	P	90.2801141
4	885	F+	P	86.0201808
5	870	F+	P	85.5388434
6	876	F+	P	84.6489103
7	866.2	F+	P	82.7988915
8	860	F+	P	81.4888962
9	849.4	F+	P	79.3832422
10	842.2	F+	P	47.8718573
11	842	F+	P	47.8639739
12	836.8	F+	P	46.5917991
13	818.2	F+	P	43.2328222
14	788.2	F+	P	38.3849417
15	725.9	F-	F-	35.0121297

工学システム学類志望者の成績集計結果 = 三河さん提供

定で「志望先の中での順位がほしいですか」という項目では、84%の学生が「ほしい」と回答した。この結果を踏まえ、昨年7月に開かれた総合学域群長やアカデミックサポートセンター長ら教職員とクラス代表者との連絡会で、模範判定の詳細なデータ開示を依頼。しかし「模範判定は、その時点の成績に基づく結果を踏まえ、その後の履修の検討に生かすためのもので、合格可能性をみるものではない」との理由から、開示は難しいと伝えられた。

「移行は受験競争と違う」

山中弘 総合学域群長



山中弘総合学域群長(7月7日撮影、1C棟)

総合学域群の1年間をどう振り返るか。総合学域群長の山中弘特命教授に聞いた。(聞き手・及川千翔、加藤緑)

総合学域群の目的が本音が、複数の専門領域の学修を通じて広い視野からさまざまな問題を多角的に捉えようとする。学生には、さまざまな人の話を聞いたりサポート体制を活用したりしながら、主体的に行動してほしい。

長い目で見る必要がある。ただ、この1年で、総合学域群の目的や理念をきちんと学生に伝えるのにはまだ時間がかかると実感した。

移行がある以上、成績が気にならない部分はあるだろう。ただ、移行は受験競争とは違う。年4回行う模擬判定が、志望者中の順位など模試のような情報を示すものでないのも、その例の一つだ。所属を決めずに迷うことは悪いことではない。学生には、さまざまな人の話を聞いたりサポート体制を活用したりしながら、主体的に行動してほしい。

気軽に立ち寄れる場所に

アカデミック サポートセンター

総合学域群の学生を支える組織が1C棟にあるアカデミックサポートセンターだ。履修計画や修学方法に関する相談を常時受け付けている。



アカデミックサポートセンターの七夕飾り。7月7日撮影、1C棟(加藤緑)

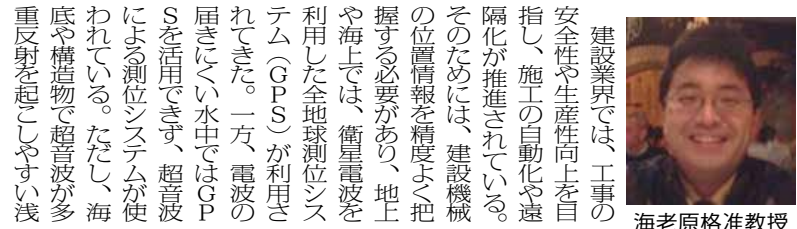
昨年5月から対面での相談に加え、オンライン会議システム「Zoom」を開発して、作業ができるよう研究を進める方針だ。

手紙

読者の皆様、コロナ禍での学生生活をいかがお過ごしでしょうか。私の経験に基づいて紹介したいと思います。

私は研究者・技術者を目指し、第三学群基礎工学類に入学しました。自然現象が数式で表される美しさにひかれ、物理学と工学が融合した物理工学を専攻しました。大学院では電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)で光情報処理の研究をしました。博士課程を中退し、静岡県教育採用試験を受験、合格(当時はおよそ20倍)するまで、人文学類卒の妻の「被扶養者」でした。

高校の現場は、とても充実したものでした。担任として卒業式を終えた2005年3月中旬、静岡県総合教育センターへ



Hello! 先端研究

海老原格准教授

建設業界では、工事の安全性や生産性向上を目指す。施工の自動化や遠隔化が推進されている。そのためには、建設機械の位置情報を精度よく把握する必要がある。地上や海上では、衛星電波を利用した地球測位システム(GPS)が利用されてきた。一方、電波の届きにくい水中ではGPSを活用できず、超音波による測位システムが使われている。ただし、海底や構造物で超音波が多重反射を起こしやすい浅

水中版GPSを開発し特許化 自動化で生産性と安全性向上

た正確な測位が可能で、水中バックホウ(パワーショベル)など建設機械の遠隔操作に活用できる。この他、水中ドローンを使った水中インフラの点検効率化や漁業への応用など、幅広い分野への貢献が期待される。従来の超音波測位システムでは、対象物の発した音波が複数のマイクロフォンに届くまでの時間を測定し、音源と各マイクロフォンとの距離を算出。これを三角測量の原理に当てはめ、対象物の位置を割り出した。海中の構造物が少ない深海では有用だが、構造物が多い浅海では、正確な測位が難しかった。音波が構造物や海底などで多重反射され、音源から直接やってくる音波と混在してしまうからだ。



次に、領域内で実際に観測された音波信号をデータベースと比較し、音源の場所を大まかに決定する。この情報を活用し、マイクロフォンが受信した信号から不要な反射波を排除(フィルタリング)する。こうして抽出された、音源からマイクロ

人生は決断の連続

数科長として赴任しました。1年目は定員割れの危機でしたが、2年目以降は学校の特色・魅力をアピールし、赴任5年目には理数科の志願倍率が県

理「新教科「理数」を担当。学習指導要領改訂に携わりました。学習指導要領改訂では、資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学び」

例作成、科学研究費助成事業(科研費)による理科の研究、月刊誌「中等教育資料」の編集長などです。東京では荻窪(東京都杉並区)や茗荷谷(東



静岡県総合教育センター総合支援部長 遠山 一郎 さん

ただ、人間学群は1年次に必修科目が多く設定されている。就職や社会福祉士など資格取得を目指す学生も多い。移行後に必修科目と資格に関する科目の時間割が重なる場合もある。また学群ごとの学類も定員が少なく、人間関係が密接だ。移行してきた学生が「転校生状態」にならないよう、フォローしていきたい。

学生には、入った学類で何をしたいかというビジョンを明確に持ち、1年次から学類に入った学生と早くなじんで、良い影響を与えてほしい。

使った相談も始めた。だが、オンライン相談は昨年度末までに10件足らずしかなく、思ったより少なかった。担当者は振り返る。今年3月、サポート体制

このため、同センターでは、ガイダンスの際にAAを招き、会場で相談を受け付けることを検討中だ。

担当者は「アカデミックサポートセンターを、学生がより気軽に立ち寄れる場所になるよう、工夫していきたい」と話している。

で1位になりました。その年の3月の異動で文部科学省(国立教育政策研究所)に赴任しました。文科省では教科調査官として6年間勤務し、中学校理科「1・高等学校物理」の活用事を提唱して学びの質の向上を図りました。その他の主な業務は、児童生徒に1人1台の端末を配備する「GIGAスクール構想」による情報通信技術(ICT)の活用事

「どんな学生も歓迎」

総合学域群の学生を受け入れる教育組織は新制度をどう受け止めているのか。移行要件を定めていない人間学群の樋口直宏学群長(人間系・教授)に聞いた。(聞き手・寺尾優汰)

移行要件を定めていないのは「どんな学生が来ても良いというメッセージ」だ。人間を理解するためには、人間の歴史や文化から統計を用いた分析まで、幅広い分野から学びを深める必要がある。人間学群で学ぶのは、高校までの科目の延長線上にある学問ではない。大学入学後は横並びで新たなスタートを切る領域の学問と捉えている。そのため、応募要件は定めず、文理を問わない幅広い学生の応募を歓迎している。

京都文京区)に住みましたが、茗荷谷には東京教育大跡地に筑波大東京キャンパスがあり、近くにある大学の物理学科に通う長女と同居していました。今春から再び、静岡県総合教育センターに勤務し、県内の先生方の資質・能力の向上の一翼を担っています。

思いもよらない人事異動でいろいろな経験をし、それは決断の連続でもありました。社会人として大切なのは、「一人との出会い」と「考えて行動すること」です。その根拠となるのは高校・大学での「学び」だと思えます。江戸時代の儒学者細井平洲の「学思行相まって良となす」が私の座右の銘です。皆様

2回戦 柏レイソルと対戦

J1相手に健闘

天皇杯

【三協フロンティア柏スタジアム(千葉県柏市)で細井真生(文学部3年、写真)も] 天皇杯全日本選手権の2回戦が6月1日に行われ、筑波大はJ1・柏レイソルに0-1で惜敗した。当日は蹴球部が試合への筑波大生無料招待を企画し、筑波大生137人とその紹介による80人がゴール裏に集結、フューチャーブルーのユニフォームを着て、拍手で選手を応援した。

サッカー

柏には、井原正巳(ヘッド) 加入した森海渡(体専4年) コーチをはじめ、筑波大関は先発出場した。



サイドから攻撃を仕掛ける田村(6月1日、柏レイソル戦で)

係者が多い。卒業を待たず、蹴球部を退部して柏(今季) 狙う作戦に出た。

柏は開始13分、左サイド

から三丸(平成27年度体育専門学群卒)が上げたクロスで、森がゴール前で受けたものの、諏訪間幸成(体専3年)がスライディングでカバーし、シュートを打たせなかった。

前半はそのまま0-0で終え、後半へ。

筑波大は開始55分、鈴木瑞生(同3年)の左サイドからのクロスに田村(同2年)が頭で合わせた。蹴球部員23人の1分後には、田村が左サイドからドリブルで切り込み、シュートを放つが、相手のキーパーに止められた。

その直後の同59分、柏の高橋祐治に強烈なミドルシュートを決められ、失点した。2024シーズンからJ1・ウィッセル神戸加入が内定している山内(同3年)を中心に巻き返しを図るも、相手の守備は堅く、0-1で試合は終

わった。

小学4年生の時から9年間を柏の下部組織で過ごし、た田村は「古巣との対戦は楽しかったが、得点機会をものにできず悔しい。ただ、温かい雰囲気プレーででき、楽しかった。試合後には柏サポーターから拍手を頂いた」と話した。

筑波大生無料招待は、蹴球部の試合を見てサッカーの魅力を感じてもらおうと企画された。蹴球部員23人から成るプロジェクトチームが運営にあたり、来場者に貸し出すユニフォーム200枚を事前に洗濯するなどの準備を進めた。当日も受け付けなどを行った。

山内は「他の部員がさまざまな準備をしてくれていた中で、プロ相手でもチームに勝利をもたらしたかった。今回の試合のレベルを基準に日々の練習をしていきたい」と語った。

サッカー場改修プロジェクト 2000万円目標にクラファン中

老朽化した筑波大サッカー場の改修を目指し、今年6月から蹴球部などがクラウドファンディングで資金を募っている。来春、創部51周年を迎える筑波大の記念事業の一つとする計画で、これまでに当初目標の1000万円を上回る寄付が集まった。新たな目標として2000万円を設け、7月29日まで募集を継続する。

サッカー場では、人工芝の老朽化が深刻だ。一般にサッカー場の人工芝の耐用年数は約8〜10年とされるが、前回の改修から既に11年が経過している。2020年に実施された性能テストでは、グラウンドの衝撃吸収性などで日本サッカー協会の基準値を下回り、安全性が低いと判定された。実際に、人工芝の継ぎ目が割れている箇所がいくつもあり、部員から「転がりにくさに関する不満が出ている」。

蹴球部の小井正亮監督(体育系助教)が今年1月、アスレチックパートナーメント(AD)及び事業開発推進室とサッカー場の改修を協議し、50周年記念事業化と、外部からの寄付金募集が決まった。

事業開発推進室によると、人工芝改修には最低でも8000万円が必要だ。しかし、国からの運営費交付金の減少などで、大学の資金だけで賄うのは難しい。

このため、蹴球部と女子サッカー部の部員が4月中旬からOB・OGに寄付を働きかけ、大学基金を活用して、5月末までに700人以上から約2000万円を集めた。

更に多くの支援を求め、6月3日からは蹴球部などがクラウドファンディングのサイトを開設。



老朽化により剥がれている芝(7月16日、サッカー場で)

1000万円を目標に寄付を呼び掛けた。元日本代表の中山雅史さん(J1・ジュビロ磐田コーチ)など蹴球部OBがヘッドハンティングでボールをつなぐ動画で応援し、7月6日に目標を達成した。

蹴球部員の家族やつくば市内の飲食店、蹴球部出身のプロ選手のサポーター、近隣地域で定期的に部員が指導にあっている少年少女サッカー関係者など、幅広い支援があった。

目標達成翌日には、クラウドファンディングへの協力を頼みたい。筑波大のサッカー場で育ててもらった1人として、私自身もできる限り貢献したい」と語った。

プロジェクトのリーダーを務める蹴球部の林田息吹さん(国際3年)は「改修によりきれいになったサッカー場を近隣の方々や子供たちに親んでもらえる場所にしたい。そして、蹴球部やサッカーの魅力伝えたい」と話した。

ウェブサイトはこちら↓

佐藤 4種目でメダル

弟との混合では銀二つ

世界選手権

水泳の世界選手権が6月18日〜7月3日、ブダペスト(ハンガリー)で開かれた。アーティスティックスイミング(AS)の混合デュエット(MD)では、佐藤友花(体専3年)と陽太郎(常総学院高3年)の姉弟ペアがテクニカルルーティン(TR)とフリールーティン(FR)の2種目で銀メダルに輝いた。佐藤友花はチーム種目2種目でもメダルを獲得した。眞板悠貴(体専4年)が代表入りした男子水球の日本チームは、過去最高の9位に。飛び込みでは榎本遼香(コーチ1年)が板飛び込みで10位と健闘、混合シンクロノイド板飛び込みでは9位に入るなど、筑波大勢が活躍した。

水泳競技

ASの佐藤姉弟は6月20日のTR決勝で、ターザンがテーマの力強い演技を披露。86・50639点をマークし、同種目の日本勢最高成績となる銀メダルを獲得した。

勢いをつけた佐藤姉弟は25日のFR決勝でも89・73333点で銀メダルを



写真：スポニチ/アフロ

水泳世界選手権の混合デュエットフリールーティン決勝で息の合った演技を見せる佐藤姉弟

2019年の世界選手権TR銅の安部篤史・足立夢実組を指導した、平山素子准教授(体育系)から教を

受けた日本舞踊の動きも取り入れた。

佐藤友花は8人で演技するチーム種目にも出場し、21日のTR決勝で銀メダルを獲得。初の世界選手権代表となった今大会で、「演技する全種目のメダル獲得という目標を達成した。佐藤は「初めてだから」といって結果に妥協するつもりはなかった。MDのFRでは、今までで一番良い泳ぎができた」と話した。

今後は、来年の世界選手権福岡大会に出場し、MDで金メダル獲得を目指すという。「メダリストになったプライドを持って演技できるような練習に励みたい」と語った。

深沢 世界選手権代表に 段違い平行棒で優勝

体操



深沢こころ

全日本種目別選手権が6月18、19日に東京体育館(東京都渋谷区)で開かれ、筑波大から男子4人、女子4人が出場した。深沢こころ(体専3年)が段違い平行棒で優勝し、リバプール

に入れた。

深沢は18日の同種目予選で14・200点を挙げ、首位通過した。翌日の決勝では着地で足が一段前に動いたものの、大きなミスなく、14・0333点で優勝した。芹田は決勝で13・700点を出した。

世界選手権の女子代表は5人で、5月に行われたNHK杯の上位3人が代表に内定。残り2枠は種目別選手権の結果を踏まえて決まることになった。

NHK杯の段違い平行棒で深沢は、種目別8位に終わった。着地で大きく一歩前に出てしまったためだ。その後は、「種目別選手権の予選と決勝で14点を超えれば、残りの2枠に入

女子代表候補選出 ワールドカップ目指して

バスケット



朝比奈あずさ

(英)で今年10月に開幕する世界選手権の日本代表に選ばれた。芹田末果子(同1年)は同種目で2位に入った。

深沢は18日の同種目予選で14・200点を挙げ、首位通過した。翌日の決勝では着地で足が一段前に動いたものの、大きなミスなく、14・0333点で優勝した。芹田は決勝で13・700点を出した。

世界選手権の女子代表は5人で、5月に行われたNHK杯の上位3人が代表に内定。残り2枠は種目別選手権の結果を踏まえて決まることになった。

NHK杯の段違い平行棒で深沢は、種目別8位に終わった。着地で大きく一歩前に出てしまったためだ。その後は、「種目別選手権の予選と決勝で14点を超えれば、残りの2枠に入

れる」と考え、今大会に向けて段違い平行棒を重点的に練習してきた。本番では足先をそろえることなど細かいところまで意識した練習の成果を発揮し、技の出来栄を示す実施点(Eスコア)を伸ばした。

世界選手権の上位3カ国は、2024年パリ五輪の団体出場権を得る。「着地をしっかり止めるなど演技全体の質を上げ、平行棒のスペシャリストとして日本チームに貢献したい。五輪の出場権獲得が目標」と語った。(細井真生、写真は本人提供)

合のメンバー15人に、5月に公表された代表候補27人の中から選ばれた。

トルコ代表候補と対戦した国際強化試合では、第1クォーターの終了間際にゴールを決め、代表候補選出後の得点を挙げた。

朝比奈は、バスケットの強豪校・桜花学園高校(名古屋市中区和区)出身。高校時代はインターハイで2回ウィンターカップで3回の優勝を経験し、同高のキャプテンも務めた。

184cmの長身とフィジカルの強さを生かしたポストプレーが持ち味。大学ではパリ五輪出場を見据え、素早い判断力や幅広い戦術知識を身に付けたいという。「そのためには、今回の代表選考に残りたい」と意気込む。(山田優芽、写真は本人提供)

高良 走幅跳で4連覇 史上2人目 総合順位は女子2位 男子3位



【国立競技場東京都新宿区】で川上真生(社会学科1年、写真も。12面に関連写真)関東学生競技対校選手権(関東インカレ)が5月19〜22日に開かれた。筑波大は高良彩花(体専4年)が女子走幅跳で史上2人目の4連覇を達成。三段跳でも優勝し、2冠を獲得した。国立競技場での関東インカレは9年ぶり。男女合わせて計8種目で優勝し、リレーを含め計30種目で延べ54人が入賞を果たすなど、筑波大勢が躍動した大会となった。総合順位は女子が昨年と同じ2位、男子は昨年の8位から順位を上げて3位だった。

200mを1着でフィニッシュした鶴澤(右)(5月22日、国立競技場)

高良は最終試技で6が38を記録。これは自己ベスト6が44に次ぐセカンドベストで、大学ではベスト記録だった。三段跳でも「主将として確実に優勝し、チームに貢献する」という賞格で12が93を跳び、2冠に輝いた。女子ではこの飛羽(同2年)が、走高跳で藤井稜真(同4年)が優勝した。鶴澤は2位と0・05秒差の20秒77でレースを制し、ゴール直後には涙を拭う姿も見せた。藤井は2が11で前評判通りの実力を示し、「勝ち切れたことは今後の自信にもなる」と話した。

陸上



男子はこの他、400以上の三浦由奈(同3年)、1500以上の榎原沙紀(同3年)が優勝した。1年時から優勝を期待されてきた渡邊は、58が30で悲願の初優勝。「当日の感覚は良くなかったが、意地で投げた。価値ある優勝になった」と振り返った。女子はこの他、本庄悠紀奈(同4年)が3000以上の障害で10分28秒28の自己ベストをマークし、準優勝するなど計14種目で延べ31人が入賞した。

宗方・吉岡代表強化選手選出 ソフトの経験生かし



平たいクリケットのバットにまだ慣れないという吉岡(本人提供)

女子東アジアカップ(大阪府員塚市)出場を目指し、府内練習に参加している。ソフト・オリンピックプログラム(TIAS)と日本クリケット協会が開催したトライアウトに参加した。トライアウトは2026年のアジア大会(名古屋)日本代表選手2人がクリケットを始め、4チームが参加する10月のたきっかけは、昨年8月に



ソフトボール部時代は遊撃手として活躍した宗方(本人提供)

の発掘が目的で、持久力や瞬発力が測られた。2人はともともソフトボール部員だった。ソフトボールの投げる、打つなどの基本的な動きはクリケットと共通する。大学院進学を機に、新しい競技を始めたいと考えていたこともあり、トライアウトを受けた。吉岡は「日本代表になれたらカッコいいな」という思いは「アウトにならない限り

いで応募した」と話す。トライアウト合格後、今年3月の選考を経て強化選手団の一員となった。4月からは栃木県佐野市で月一回練習を行っている。この他、週に3回、ソフトボール部で後輩を指導しつつ、体を動かしている。クリケットをしたのはまだ5回ほどだが、宗方は「アウトにならない限り

打席に立ち続けられることや、360度どこにボールを打つてもいいという自由さが面白い」とその魅力を話す。だが、ボールを素手で捕球するなどソフトボールとの違いに戸惑うことも。宗方は「ソフトボールと変わらない速さの打球を素手で捕ることに慣れない。3球ほど捕っただけで手が痛くなる」と言う。一方、吉岡は「クリケットのバットは平たい。打つ時に手を返すソフトの癖が抜けず、バットの平たい面をボールを上手に捕らえない」と課題を語る。今後は「市でも練習ができるよう、学内にチームを作るなどして、クリケットに触れる回数を増やしたい」という。(東谷郁美)

スポーツ顔

テニス



おわびと訂正
5月30日発行の本紙370号で、9面のスポーツの顔に誤りがありました。西浦謙太選手(体専3年)の写真を掲載すべきところ、成沢巧馬選手(同)の写真を掲載してしまいました。改めて西浦選手の写真を掲載させていただきます。おわびと訂正します。

「プレッシャーは感じなかった。素直に試合を楽しもうと思って気楽に臨んだ」
相手を圧倒する思い切りの良いサーブと前に出て攻めるプレーで、1年生ながら5月の関東学生トーナメント大会でシングル優勝、ダブルス準優勝の好成績を収めた。石川県出身。元筑波大テニス部員で体育専門学科を卒業した4歳年上の姉の背中を追いかけて、5歳でテニスを始めた。小学5年時に全国大会に出場し、中学3年時の全国中学生選手権ではベスト8に入る成長をみせた。



関東学生トーナメント大会優勝 田中佑 (体専1年)

多くの大会が中止になった。3月に出場した全国選抜高校大会で実った。決勝戦で格上相手にストレート勝ちを決め、初の全国優勝を果たした。「相手

基礎練習積み重ね飛躍

多くの大会が中止になった。3月に出場した全国選抜高校大会で実った。決勝戦で格上相手にストレート勝ちを決め、初の全国優勝を果たした。「相手

基礎練習の繰り返し6時間も続き、「もう二度と来ないと思うほどきつかった」と語る。だが、「中学での練習に戻った時に、今までより強くなった気がした」と手応えを感じた。その日の練習を振り返ると、2年生の時はいながらでもテニスへの思いを共有。よく通っていた整骨院の整体師にも悩みを相談することで辛い練習を乗り切ることができた。「二人じゃないのが大きかった」という。その成果は、2年生の

のボールを前で打つ練習を繰り返してきたことで、試合の主権を握れた」と振り返る。勢いそのままに、3年生の8月に開かれた全日本ジュニア選手権U18でも優勝する。しかし、その直前のインターハイの決勝では、勝ちを意識しすぎて体が思うように動かず、逆転負けを喫した。「テニスはメンタルスポーツ」と痛感し、「テニスを楽しむ」気持ちで試合に臨むようになった。高校最後の大会となった昨年末の全日本ジュニア選抜室内選手権でも優勝し、有終の美を飾った。

筑波大のコロナ下における課外活動への対応

- 2020年2月28日～4月8日
イベント・集会・合宿などの中止・延期を要請
- 2020年4月9日～9月30日
(7月22日より、活動の実績が学生のキャリア向上に大きな影響を与える場合などは、申請すれば特例で認める)
全ての団体活動は自粛
- 2020年10月1日～現在
課外活動は「筑波大学課外活動における団体活動開始ガイドライン」を踏まえた上で、学生生活課に「団体活動開始届」を提出することを条件に認められる
- 2021年5月7日～19日
つくば市外での活動を自粛(市内での活動でも、市外から来た学外者と接する活動は自粛)
- 2021年5月21日～7月29日
緊急事態宣言下の都道府県やまん延防止等重点措置区域での活動を自粛(該当地域でなくても、該当地域から来た学外者と接する活動は自粛)
- 2021年7月30日～8月19日
つくば市外での活動を自粛(市内での活動でも、市外から来た学外者と接する活動は自粛)
- 2021年8月20日～9月19日
全ての団体活動は自粛(大会の参加などは、申請すれば特例で認める)
- 2021年9月20日～9月30日
学外での活動は自粛
- 2021年10月1日～2022年1月21日
感染拡大防止策に十分配慮した上で活動できる
- 2022年1月22日～1月27日
・緊急事態宣言下の都道府県やまん延防止等重点措置区域での活動を自粛(該当地域でなくても、該当地域から来た学外者と接する活動は自粛)
・宿泊を伴うもの、不特定者が参加するイベントへの参加/開催を自粛
- 2022年1月28日～2月10日
・茨城県外での活動は自粛
・緊急事態宣言下の都道府県やまん延防止等重点措置区域での活動を自粛(該当地域でなくても、該当地域から来た学外者と接する活動は自粛)
・宿泊を伴うもの、不特定者が参加するイベントへの参加/開催を自粛
- 2022年2月11日～2月20日
全ての団体活動は自粛(大会の参加などは、申請すれば特例で認める)
- 2022年2月21日～3月18日
・緊急事態宣言下の都道府県やまん延防止等重点措置区域での活動を自粛(該当地域でなくても、該当地域から来た学外者と接する活動は自粛)
・宿泊を伴うもの、不特定者が参加するイベントへの参加/開催を自粛
- 2022年3月19日～4月4日
全ての団体活動は自粛(大会の参加などは、申請すれば特例で認める)
- 2022年4月5日～
4月5日～4月27日 感染拡大防止策に十分配慮した上で活動できる
4月28日～5月31日 感染拡大防止策に十分配慮した上で「小規模な活動」ができる
6月2日～6月30日 「小規模な活動」に関する制限を緩和
7月1日～ 「小規模な活動」とする制限を当面の間適用せず、マスク着用などは継続(筑波大の資料を基に作成)

コロナ禍がむしばんだ課外活動

イベントの中止や活動形態の変更迫られ

【2面参照】筑波大は7月1日、課外活動の制限を大幅に緩和した。新型コロナウイルス感染症の「感染拡大防止に留意して、活動できる」としており、「活気あふれるキャンパスの日常を取り戻す」ことを目指している。筑波大の課外活動団体や一般学生団体は、コロナ下でどのような課題を抱え、どう対応してきたのか。本紙はオンラインアンケートを実施し、課外活動団体(134団体)のうち35団体、一般学生団体(107団体)のうち10団体、計45団体から回答を得た。多くの団体が活動形態の変更を迫られ、大会やイベントへの参加を断念せざるを得なくなった実情が浮かんだ。

(天野隼太 比較文化学類3年)

併用型が最多

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大以降の活動形態を問う設問では、「基本的に全て対面が44%(20団体)」「オンラインと対面の併用」が51%(23団体)、「基本的に全てオンライン」が4%(2団体)だった。

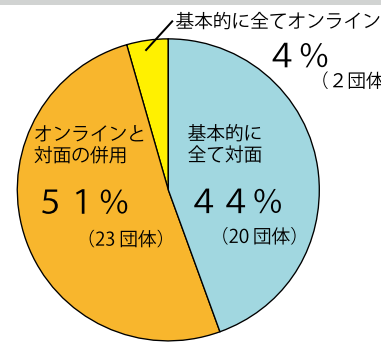
全て対面を選んだ団体は、集団スポーツや楽器の演奏など、個人単位での実施や自費での音出しが難しいことを理由に挙げた。

おわび

「コロナ下の課外活動についてのアンケート」は7月8～13日に実施した。課外活動団体については、各団体が加入する芸術系サークル連合会、文化系サークル連合会、体育会を通じて回答フォームのURLを拡散してもらった。また、一般学生団体に対しては、学生生活課に周知を依頼した。設問は選択式と自由記述式を合わせて計29問。回答団体の所属は芸術系サークル連合会9団体、文化系サークル連合会13団体、体育会13団体、一般学生団体10団体。

「コロナ下の課外活動についてのアンケート」の問9に誤りがありました。2021年8月～22年4月までの間に、筑波大から学生団体へ全ての団体活動自粛が要請されていた期間は3回ありました。しかし、アンケートでは誤って、21年8月20日～9月19日までと22年3月19日～4月4日までの2回として質問していました。おわびいたします。「コロナ禍がむしばんだ課外活動」の記事では、誤って2回の活動自粛期間とした質問に対する回答の集計結果を記載しています。

新型コロナウイルス感染拡大以降の活動形態(活動自粛期間を除く)



イベント中止影響

4月4日までの2回の活動自粛期間では、「何も活動しなかった」が40%(18団体)で最も多く、「対面の活動の成果を見せる機会がない」などの回答があった。

大会に参加できた団体からも、「学内施設が使用できず練習不足のまま出場せざるを得なかった」「コロナ対策で、移動中のバスの乗車率を減らしたため、台数が増え、費用がかさんだ」などの回答があった。

この他、部員同士が交流する機会が少なくなり、「信頼関係をつまづ構築することができなかった」ことなどが挙げられた。

前日に計画頓挫

筑波大学歴史探訪会は、休日や長期休みに史跡や博物館を探索している。訪問先は全国各地に及び、宿泊を伴う場合も多かった。

しかし、会長の渡辺耕太朗さん(国際3年)によると、コロナ禍になってからおよそ2年、宿泊を伴う探訪ができていないという。渡辺さんは「探訪の前日に大学から通知があり、中止したことがあった。通知をすべ適用するのではなく、準備期間を設けてほしい」と話した。

留学生の声

モンテネグロ

物理学位プログラムのモンテネグロ(物理学位プログラムの)見た目は平たいフライドチキンのような、カリカリの衣に包まれていたのは、ジュシーな豚肉とチーズだった。モンテネグロの家庭料理「ネグシキステキ」だ。

2度目の取材の時、母国の食文化を知ってほしいと、手作りして、もてなしてくれた。濃厚なうまみにスパイスの刺激が加わり、いっきに平らげってしまった。

2019年4月に来日。1年間研究生として日本語などを学び、翌年大学院に進んだ。現在は博士後期課程で、トポロジカル超伝導体の研究開発に取り組んでいる。

この超伝導体は、内部は超伝導体だが、表面は特殊な金属のような性質を持つ。従来の半導体と異なり、電気を示すデバイスや、最近話題の量子コンピュータへの応用が期待され、世界で激しい研究開発競争が行われている。

日々、複数の金属を溶解し、1～2週間かけて冷却する作業を繰り返す。混ぜる物質の割合や温度を変え、トポロジカル超伝導体の候補物質を作り出す。「同じことをする日は1日もない。無限の可能性の中から新しいものを生み出すところだ」。

つくばで二つの夢を追う

博士後期課程で、トポロジカル超伝導体の研究開発に取り組んでいる。この超伝導体は、内部は超伝導体だが、表面は特殊な金属のような性質を持つ。従来の半導体と異なり、電気を示すデバイスや、最近話題の量子コンピュータへの応用が期待され、世界で激しい研究開発競争が行われている。

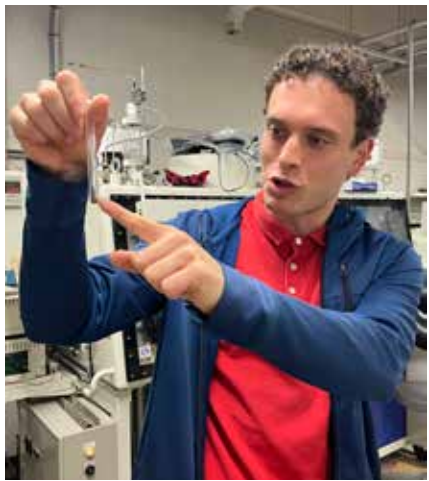
日々、複数の金属を溶解し、1～2週間かけて冷却する作業を繰り返す。混ぜる物質の割合や温度を変え、トポロジカル超伝導体の候補物質を作り出す。「同じことをする日は1日もない。無限の可能性の中から新しいものを生み出すところだ」。

「短期間で二つも新しい化合物を見つけ出せ、うれしい」という。成果は今年5月、ハワイで開催された国際会議で発表された。

「研究発表では、人流をデータに基づいて分析する方法としてNTTドコモの「モバイル空間統計」が紹介された。また、レゴブロックで作った筑波大キャンパスの模型にプロジェクターで交通シミュレーションを投影することで、バスの運行状況を可視化する研究や、車の運転時に視界を遮る木々を見つけ出す研究など、人の流れを良くするためのさまざまな研究が発表された。発表後には、学生生活課の職員と学生が意見交換を行った。

関係者は「宿舎の問題だけに終わらず、学内バスやループ道路沿いの樹木による死角など幅広い視点から人流を考慮する必要があると感じた。今後も、学生の協力を仰ぎながら対応を検討していきたい」と話した。

(天野隼太 写真も)



シス情系 大澤研「人流」に関する研究発表

筑波大の学生宿舎リニューアールに関する研究を、今年2月に演奏会を企画していたが、公演前日に感染の疑いがある部員が出たため、急ぎ中止した。

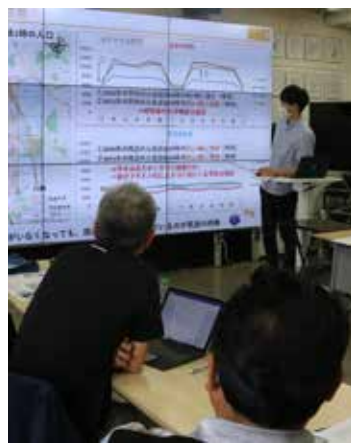
同楽団はその後、演奏会の形態を有観客から無観客のライブ配信や録画の配信に変更した。

同楽団代表の鈴木優梨さん(社工3年)は「有観客の演奏会を直前に中止すると、遠方から来場を予定していた観客が、交通チケットを急にキャンセルする必要が生じたりする。配信なら、そうした迷惑は掛かなくて済む」と話した。

筑波大の学生宿舎リニューアールに関する研究発表では、人流をデータに基づいて分析する方法としてNTTドコモの「モバイル空間統計」が紹介された。また、レゴブロックで作った筑波大キャンパスの模型にプロジェクターで交通シミュレーションを投影することで、バスの運行状況を可視化する研究や、車の運転時に視界を遮る木々を見つけ出す研究など、人の流れを良くするためのさまざまな研究が発表された。発表後には、学生生活課の職員と学生が意見交換を行った。

関係者は「宿舎の問題だけに終わらず、学内バスやループ道路沿いの樹木による死角など幅広い視点から人流を考慮する必要があると感じた。今後も、学生の協力を仰ぎながら対応を検討していきたい」と話した。

(天野隼太 写真も)



人流に関する研究を発表する大学院生(6月7日、工学系学系棟)

「モバイル空間統計」ドコモの携帯電話の台数情報を利用して、500m四方に1時間ごとの人数を推計する技術。1時間当たりの台数に、ドコモ普及率などを加味して性別や年齢居住地などの属性分布などの情報を含めて推測する。

3年ぶり 新入生のにぎわい戻る 宿舍祭 コロナ下で初開催



【一面参照】新入生を中心に行われる第48回宿舍祭(やどかり祭)が5月27、28日、平砂学生宿舎周辺を会場に3年ぶりに開催された。テーマは「祭起可能」。コロナ禍で2年中断だった祭を復活させ、今後に継承するの思いを込めた。平砂テニスコートに設置されたメインステージでゆかたコンテストや軽音楽ライブ企画が行われたほか、新入生らによる計33の模擬店が並んだ。感染対策のため、来場は予約制となり、恒例の御輿パフォーマンスなどは中止されたが、2日間で延べ2500人が祭りを楽しんだ。

(及川千翔、天野幸太、加藤緑、12面に関連写真)

学類らしさ見せる
地球学類の1年生約40人は、鉱物や化石の展示・販売を企画した。水晶や琥珀、アンモナイトなど約100種類が机上に並び、その横では砂場から鉱物を採り出す「玉石すくい」が体験できた。用意した約300点は2日間でほぼ完売した。

企画者の一人、高橋孝弥さん(地球1年)は「射的など縁日のようなブースも考えたが、地球学類らしさを出したかった」と話す。

鉱物や化石は中国など海外の業者から仕入れたが、分類やラベル作りはすべて学生で行った。高橋さんは「対面授業が少なく、あまり関わりのなかった

同級生と交流できてうれしかった。地球学類に興味を持ってもらえらる企画になった」と語った。

販売で得た利益は、1年生同士の親睦を深めるのに使う予定だという。

ゆかたコンテスト
祭りの目玉は28日夜の「ゆかたコンテスト」。3団体各々のテーマに沿ってパフォーマンスし、「天久保48」がグランプリに輝いた。

天久保48のメンバーは男子5人、女子6人。全員が浴衣姿で、サカナクシヨ「新宝島」に合わせて1人ずつ自己紹介した後、AKB48の3曲「フライングゲット」「恋するフォーチュンクッキー」「ヘビロケーション」の踊りをメドレーで披露した。

男子は全員が平砂学生宿舎に住む総合学域群の学生

で、宿舎共用棟の浴場で会う中で親睦を深めた「風呂友達」。女子はスポーツ・デー学生委員会と知り合ったメンバーやその友人らで、教育学類や医学類などの学生が集まった。

メンバーの竹内智さん(1類1年)は「観客も一緒に踊れるよう、誰もが知る曲を選んだ。4月末から週1回集まって練習してきたので、グランプリに選ばれてうれしい」と話した。

手探りだった実行委
コロナ下では初めての開催となった宿舍祭。1〜3年生まで約1000人の実行委員たちは、祭りを途絶えさせまいと、手探りで企画と運営に取り組んだ。

昨年9月から学生生活課の職員と感染対策の話し合いを始めると、対面開催にこだわって準備を進めてきた。だが、最終的に対面(2〜8人)までとし、利用時間も以前の半分の90分に短縮した。パーティーショーンや消毒用のウェットシートも常備した。マスク着用・換気しながらの利用を求めている。

利用希望日の1週間前からオンラインで予約できる。附属図書館のウェブページから統一認証システムを使って「マイライブラリ」にログインし、「情報カテゴリ」の「研究個室やセミナー室」などの図書館施設を予約するから利用日時、人数などを申請する。

附属図書館の松家久美アカデミックサポート課長は「感染対策のためのルールを守った上で、たくさん使ってほしい」と呼びかけた。(小栗あおい)

が確定したのは開催直前の5月16日だったという。

感染対策のため、来場をゲルフォームを使ったメンバーやその友人らで、事前予約制とし、1日最大1500人に制限。入場時は予約確認と検温、手指の消毒を義務づけた。

密を避けるため、毎年恒例のストリートパフォーマンスや御輿の制作・練り歩きは行わなかった。模擬店は例年の約半数で、飲食物はラムネのように密閉容器に入ったもの以外は販売禁止にした。メインステージ周辺では、観客に地面に1メートル間隔でつけた印の上に立ってもらうようにしていた。だが、27夜のライブ企画では予想より観客が多くなり、間隔が取りづらくなった。28日は1メートル間隔で椅子を設置し、そこに座るようにした。

実行委員はどれも宿舍祭を体験したことがない。実行委員長の玉川裕介さん(情報3年)は「祭りを知らない先輩に話を聞か資料を見るしかなかく、不安だった」と振り返る。

それでも、対面開催にぎつけ「模擬店が並ぶ中人が行き交う様子を見て祭りを作上げた実感が湧いた。祭りの目的である新入生同士の交流が図られてよかった」と語った。



「こんなにかわいかったのに、大き成長してくれたんで」

代表の鴻巣通香さん(資源3年)がそう言う。取り出したスマートフォン画面には、鮮やかな緑色をした小さな双葉が映っていた。4月に種をまいてから、楽しみに成長を見守ってきた。6月下旬に、長さ約40センチも成長した大根をついに収穫したという。

団体が借りているつくば市内の二つの畑(計約1000平方メートル)で大根やゴボウ、メロンなど16種類の野菜や果物を育てている。

メンバーは1年生49人、2年生23人、3年生26人。

キャンパス内のバス停ベンチ 寄付でリニューアル

国立大の中でも、有数のキャンパスの広さを誇る筑波大。構内に点在する椅子を、寄付を募ってリニューアルする「FUTURESHIP SEAT PROJECT」が昨年12月に始まった。筑波大の「創基151年筑波大学50周年記念事業」の一環で、椅子を通じて学生と筑波大の応援者をつなげる狙いがある。第一弾は構内に17カ所59脚あるバス停用のベンチで、今年7月19日時点で15脚(個人1件、法人14件)の寄付申し出があり、7脚がリニューアルされた。

(及川千翔)

ベンチリニューアルのため、筑波大学基金を通じて、約15万円の寄付額を151万円で、個人・法人とも1脚に限り受け付け、世界に一つだけのベンチとする。申し込みから2〜3カ月を目安に順次工事に移る。寄付金はリニューアル費用のほか、3色から選べる。

背もたれには寄付者の名前や学生へのメッセージなどを記載したステンレス製のプレートが取り付けられる。芸術専門学群の学生がデザインした。縦55センチ、横14センチ、校章「五三の桐」の配置などを変えた5パターンがある。色はブラチナ、ゴールド、ブラックの3色から選べる。

プロジェクトを担当する事業開発推進室は今後、教室や学生会館の椅子についても、寄付を募ることを検討している。1脚当たりの金額や寄付の受付開始時期などは未定だ。

同室の担当者は「バス停のベンチは毎日多くの学生が利用する。椅子という目に見える形で、学生には寄付者とのつながりを感じて

ほしい。今年の夏中に59脚全ての申し込みをいたぐのが目標だ」と話した。

寄付の申し込みは同室の電話(029-853-2604)もしくはウェブサイトの「<https://futureshipsat.sec.tanba.ac.jp>」。

図書館セミナー室 学生の利用再開

筑波大附属図書館のセミナー室・多目的学習室の学生による予約利用が6月13日に再開された。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2020年3月から利用停止となり、同年11月から、教員及び教員と同席する

る学生に限って利用を認めていた。

再開後、7月11日までに131件の利用があった。従来は1週間に160件程度だったという。

セミナー室・多目的学習室は、図書館資料を使ってグループで学習するための部屋で、学生や教職員など筑波大構成員が2人以上で利用できる。

筑波大新型コロナウイルス感染症リスク対応チームの責任者を務める加藤和彦副学長(総務人事・情報環境担当)が5月16日にウィズコロナ時代における大学の平常化を目指す」と通知したことを受け、再開が決まった。

感染症対策のため、1室の利用人数を定員の約半数

「うりんむら」

農作業で汗をかくのが楽しい

水田の草取りに励むメンバー (6月25日、つくば市柳橋で)

毎週月水曜日の朝7時〜土曜日の朝9時から、自由参加で約1時間、草取りや水やりなどをする。初心者向けに野菜栽培のポイントを紹介した本やインターネット情報を参考に、肥料の量などを調らおうと企画したイベント

25、26日にはそれぞれメンバー5人ほどがつまば市柳橋の水田にいた。水田を所有する農産物直売所「みずほの村市場」(同所)が、田植えから稲刈りまでを体験してもら



「思ったよりも深い」。そう思った矢先に、ひざ下まで足が沈んだ。バランスをとることもたついている私の横で、メンバーたちは黙々と草を取っている。私も態勢を立て直し作業に励んだ。数十分経つと、じりじりと背中が熱くなってきた。顔には大粒の汗が伝う。だが、気持ちは落ち着いていた。土の感触とゆったりとした時間の流れの中、子供の頃、曾祖父の家で田植えをしたことを思い出した。

「汗をかくのが楽しい」。その言葉の意味が少し分かった気がした。(車谷郁美 社会学類3年、写真も)

記者も草取りを体験した。開始は13時過ぎ。6月には珍しく35度近い暑さだった。頭上の太陽の光を反射して水面がキラキラと光る。水田に裸足でそっと踏み入ると、水の生温かさや柔らかさ、吸い付くような土の感触が伝わってきた。

「初めて水田の草取りをした吉岡明日香さん(資源3年)は「生産者の大変さを身にしみて感じないの、雑草が多い自然本来の田んぼの様子を見ることができて面白かった」と話した。

作業の後は参加者にスイイカが振舞われた。真剣なまなざしで草をとっていたメンバーも満面の笑みでかぶりついている。汗だくの体にスイカの甘さが染みわたった。

「汗をかくのが楽しい」。その言葉の意味が少し分かった気がした。(車谷郁美 社会学類3年、写真も)

筑波大学 出版会

もっと知りたい! 「科学の芽」の世界 PART8

永田恭介 筑波大学長 監修 / 「科学の芽」賞実行委員会 編

距離分布からみる空間

腰塚武志 名誉教授 著

◆A5判並製、242頁。6月16日刊行。4730円(税込み)。

◆B5判並製、202頁。6月27日刊行。2420円(税込み)。

筑波大学出版会が6月に2冊の新作を刊行しました。それぞれ都市工学・都市解析の研究をしている方、理科教員を目指す学生や小中高生の保護者におすすめです。

Who's Who?

守谷でまちづくり 上野友睦さん(体育P2年)



「守谷に骨をうめたい」まちづくり活動を通して縁もゆかりもない守谷市が大好きになり、市職員を目指すまでに。市内の閉店となった銀行支店を町内会員や小学生と一緒に改装するなど、地域の人を巻き込んだ活動を2年前から続ける。

活動を始めたきっかけは2020年9月、市が家賃無料で筑波大生向けに提供する「守谷学生シェアハウス」に住み始めたことだった。町内会や夏祭

「みずき野ひろば」の前で満面の笑みを浮かべる上野さん=本人提供

活動を手伝った。町内会や夏祭の清掃活動をした銀行の清掃活動を手伝った。町内会や夏祭の清掃活動をした銀行の清掃活動を手伝った。

若者の声届ける市職員目指す 「小学生が戻りたいと思うまちに」

「守谷に骨をうめたい」まちづくり活動を通して縁もゆかりもない守谷市が大好きになり、市職員を目指すまでに。市内の閉店となった銀行支店を町内会員や小学生と一緒に改装するなど、地域の人を巻き込んだ活動を2年前から続ける。

活動を始めたきっかけは2020年9月、市が家賃無料で筑波大生向けに提供する「守谷学生シェアハウス」に住み始めたことだった。町内会や夏祭の清掃活動をした銀行の清掃活動を手伝った。

「守谷に骨をうめたい」まちづくり活動を通して縁もゆかりもない守谷市が大好きになり、市職員を目指すまでに。市内の閉店となった銀行支店を町内会員や小学生と一緒に改装するなど、地域の人を巻き込んだ活動を2年前から続ける。

活動を始めたきっかけは2020年9月、市が家賃無料で筑波大生向けに提供する「守谷学生シェアハウス」に住み始めたことだった。町内会や夏祭の清掃活動をした銀行の清掃活動を手伝った。

活動を始めたきっかけは2020年9月、市が家賃無料で筑波大生向けに提供する「守谷学生シェアハウス」に住み始めたことだった。町内会や夏祭の清掃活動をした銀行の清掃活動を手伝った。

次号は
9月26日(月)
発行予定です

印刷リフォーム

自転車店オープン



大学公認サイクルを前に立つ筑波大関係者ら(5月30日、つくば市桜の「サイクルシック」で) = 及川千翔撮影

1面へ

学内総合

麦秋展



書や篆刻が展示された麦秋展(6月16日、総合交流会館で) = 小栗あおい撮影

5面へ

学芸

陸上 関東インカレ



女子総合2位のトロフィーを笑顔で受け取る高良(中央)(5月22日、国立競技場で) = 川上真生撮影

9面へ

スポーツ

宿舍祭 コロナ下で初開催



色とりどりの鉱物や化石が並んだ地球学類の展示・販売(5月28日、平砂宿舍エリアで) = 及川千翔撮影

11面へ

学生生活

編集後記

やテニスコートなど、体育施設の多くは老朽化が進んでいます。筑波大学蹴球部と女子サッカー部は、サッカー場改修の資金として、卒業生から200万円を集めました▼私も高校までスポーツをやっていたので、練習環境が整っていることの大切さは、身をもって分かります。今後も筑波大が日本のスポーツ界を引っ張っていく存在であるためには、選手たちが満足いく練習ができる環境が欠かせません。少しでもそのサポートになればと思

■筑波大学新聞編集委員会
▼委員長 逸村裕(図書館情報メディア系・教授)
▼副委員長 清水諭(体育系・教授)
▼委員 秋山肇(人文社会学系・助教)
▼委員 藤田平(生命科学系・教授)
▼委員 水野生(生命科学系・教授)
▼委員 関根穂(学環境生学系・教授)